# 愛知東邦大学 シラバス

| 開講年度(Year) | 2023年度 | 開講期(Semester) | 後期 |
|---|---|---|---|
| 授業科目名(Course name) | 専門演習Ⅳ | | |
| 担当者(Instructors) | 吉村 美路 | 配当年次(Dividend year) | 4 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 必修 |

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本演習は、前期の卒業研究指導Ⅱを踏まえ、卒業研究の完成を目指します。自身の興味関心だけでなく、論文が誰にどのように貢献できるのかを考えながら仕上げていきます。 ※授業は対面・オンライン(meet等)どちらでも選択できる形で実施しますが、コロナ禍が悪化した際には速やかにビデオ会議システム(meet等)を利用したオンライン講義のみに切り替えます。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

| | |
|---|---|
| 授業形態(Class form) | 演習 |
| 授業の方法(Class method) | 演習形態 |

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---|---|---|---|
| 第1回 | ガイダンス　ねらいと概要 | この期の課題を示します。 | □ |
| 第2回 | 研究の経過報告（１） | 論点や資料などの追加（１） | □ |
| 第3回 | 研究の経過報告（２） | 論点や資料などの追加（２） | □ |
| 第4回 | 研究の経過報告（３） | 論点や資料などの追加（３） | □ |
| 第5回 | 卒業研究まとめ（１） | 研究成果のまとめを行う（１） | □ |
| 第6回 | 卒業研究まとめ（２） | 研究成果のまとめを行う（２） | □ |
| 第7回 | 卒業研究まとめ（３） | 研究成果のまとめを行う（３） | □ |
| 第8回 | 研究内容の追加と補正（１） | 論点や資料などの追加と補正を行います（１） | □ |
| 第9回 | 研究内容の追加と補正（２） | 論点や資料などの追加と補正を行います（２） | □ |
| 第10回 | 報告用PPの作成準備（１） | 研究内容の概要をPPにまとめます（１） | □ |
| 第11回 | 報告用PPの作成準備（２） | 研究内容の概要をPPにまとめます（２） | □ |
| 第12回 | 報告用PPの作成準備（３） | 研究内容の概要をPPにまとめます（３） | □ |
| 第13回 | まとめの報告（１） | 研究成果のまとめを発表する（１） | □ |
| 第14回 | まとめの報告（２） | 研究成果のまとめを発表する（２） | □ |
| 第15回 | 卒業研究の提出 | 論文の提出 | □ |

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

卒業研究の完成に向けて、必要となる資料や論点を自分でまとめ、それぞれに締切に間に合うように次回の準備を進める（演習の前後合わせて4時間程度）。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

参加者とそれぞれ検討を行い、適宜フィードバックとガイドを行う。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|---|---|---|
| 思考力・判断力・表現力 | ◆ 2019地域ビジネスDP2 | 自身の興味関心を持った分野について、自発的に調べ考察を重ねることができる。自ら得た知識や調査した結果を、社会でどのように生かすかを意識し、成果として発信していくことができる。 |

| | | |
|---|---|---|
| 主体性 | ◇ 2019地域ビジネスDP3 | 自身が大学生活で形にした成果を、周囲の人や社会の人に発信し伝えることができる。どのような場・方法・表現が効果的であるかを判断した上で、自身が使えるリソースを最大限に活用し行動できる。 |

■成績評価(Evaluation method)

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他(Other) |
|---|---|---|---|---|
| | | | 50% | 50% |

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

出席状況(50%)と卒業論文の提出(50%)をもって単位認定とします。

■テキスト(Textbooks)

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|---|---|---|
| 1 | なし | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

■参考図書(references books)

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|---|---|---|
| 1 | なし | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |